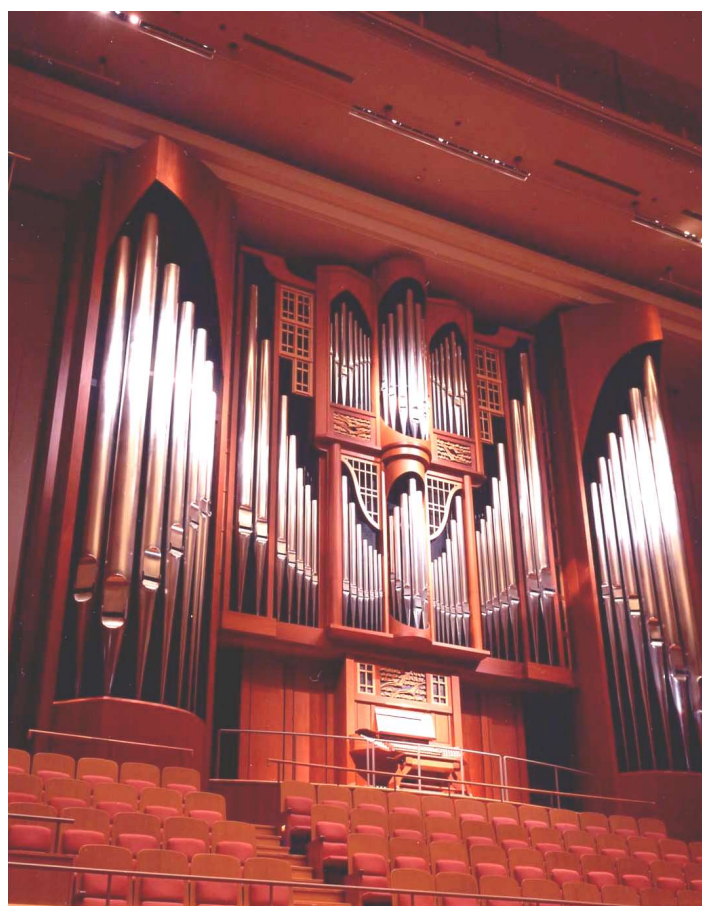


横浜みなとみらいホール

ホールオルガニスト・インターンシップ・プログラム 2018年度 第17期 インターン募集



1998年に開館以来、積極的にパイプオルガン事業を展開している「横浜みなとみらいホール」では、ホールオルガニストをめざす方々に向けて“オルガニスト・インターンシップ・プログラム”を実施しています。このプログラムは、ホールオルガニストに必要な資質を習得するための、若いオルガニストを対象とした研修制度で、ホールオルガニスト三浦はつみの指導により2002年から実施しています。このたび、2018年度第17期生を募集いたします。

■ 研修プログラムの内容

(1) オルガン公演・ワークショップなどの事業の企画運営に参加

主に夏休みに行う子ども向け事業およびオルガン普及・紹介に関わるプログラムの立案・運営に、ホールオルガニスト三浦はつみ、スタッフとともに参加していただきます。

聴衆との接点を得られる事業の現場において演奏家としてだけでなく、コーディネーターやファシリテーターとしての役割を実際に体験、学ぶことができます。



「パイプオルガンを弾いてみよう!」より

(2) オルガン保守について習得

コンサートホールに設置されているパイプオルガンを最良の状態に保つために、ホールスタッフ、調律師、ビルダーとのコミュニケーションを取りながら、常日頃楽器の状態を把握するなど、ホールオルガニストとして求められる役割を研修していきます。

(3) 楽器の構造について学習

調律補助やアニュアル・メンテナンスの場で、楽器の構造や調律方法についての理解を深めます。

(4) オルガン利用者への操作説明方法を習得

限られた時間内でのレジストレーションをサポートするための知識や心構えを、実際の現場で研修し、国内や海外からの演奏家に対し、パイプオルガンの操作法や特徴を効果的に説明できるスキルを習得します。



「MC研修」講師の先生にレクチャーを受け実際にホールで話してみます。

(5) オルガンやホールに関する広報活動への参画

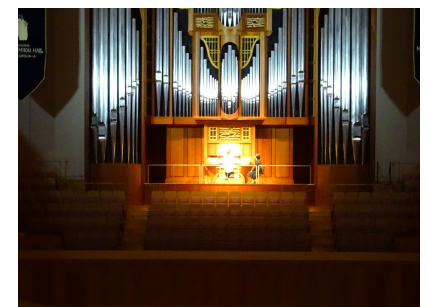
ホールに関わるスタッフの一員として、オルガンのPRに関わる広報取材を受けたり、ブログ記事で発信をしていただきます。また、昼休みのコンサートや子ども向け事業でのMC、一般来場者に対するオルガンの紹介など、大勢を対象に話す訓練を行います。さらに、ラジオやテレビ、ニコニコ動画など、メディアへの出演をお願いすることもあります。

(6) 公共ホールの運営について学習

公共施設としてのホールのあり方を学びます。またその視点に立ったオルガン活用を考えてもらうなど公共ホールの一員としての研修を行います。

(7) ホールオルガニスト三浦はつみによる研修

オルガンを使って様々な作品に取り組みます。



「2017/5/31 オルガン・1ドルコンサート Vol.208」
(第15期インターン修了コンサート)

(8) 研修修了後の「オルガン・1ドルコンサート」に出演

2019年度の「オルガン・1ドルコンサート」で、インターンシッププログラム修了演奏会として演奏していただきます。

(5月の「オルガン・1ドルコンサート」への出演を予定)

(9) その他

オルガニストを必要とされる貸館利用者に対し、積極的に紹介いたします。

ホールオルガニスト・インターンシップ・プログラム第17期研修内容(予定)

2018年2月現在

ホールオルガニストは、自らがコンサート等で演奏することはもちろん、オルガン事業の企画立案に参加したり、お客様の前に立って楽器や作品についてわかりやすく説明することにより、ホールのパイプオルガンの魅力を幅広く発信します。

また常に「弾きこみ」を行うことで楽器を最良の状態を保つとともに、初めてこのオルガンを演奏するオルガニストがスムーズに演奏できるようフォローも行います。

研修分野	研修項目	日程・時期	内容
オリエンテーション	ガイダンス	5月	①カリキュラムについて ②楽器を知る
楽器管理	メンテナンス	随時	①管の調律状況をチェック ②鍵盤の高さや戻り方をチェック ③アクセサリー（仕掛け）のチェック ④空気漏れやノイズのチェック ⑤トラブルが起きたときの対処方法
	調律補助	1ドルほか調律時	調律時に助手をおこなう場合の注意点
	オルガン構造研修	8月に予定	オルガン内部にて仕組みを知る。
	利用管理	随時	利用記録の残し方
	利用者への説明		オルガニストへの楽器使用（仕様）説明（日本語、外国語とも）
調律研修	アニュアル・メンテナンス時	ビルダーによる年次メンテナンス時に保守点検・調律方法を実地研修	
広報活動	来場者への説明・デモンストレーション	下半期	一般の方々にむけての楽器紹介（デモンストレーション）
	PR活動	下半期（夏以降）	新聞雑誌放送など、ホールやオルガンのPRのための取材対応、ブログ執筆
事業の企画運営への参加（予定）	パイプオルガンを弾いてみよう！	時期未定	①事業内容の把握、演奏・デモンストレーション部分での役割確認 ②オルガン体験の子どもたちの指導 ③オルガン説明・演奏 等
	ホール探検隊		
事業運営(MC)の実習	MC研修	8月初旬実施予定	オルガン事業で必要になる演奏間でのMCや司会についての研修
	1ドルコンサート MC	予定	1ドルコンサート冒頭でのMC実習
ホール運営	ホール貸出全般（楽器貸出を含む）	日程未定	ホール運営についてホール職員の説明を受け、公共施設の在り方を学ぶ。
出演	心の教育ふれあいコンサート	2018年9-10月開催予定	市内小学生対象 音楽鑑賞公演での神奈川フィルとの共演、オルガン独奏および楽器紹介
	2019年度1ドルコンサート	2019年5月出演	インターンシップ修了演奏会
まとめ	ヒアリング	2019年4月（予定）	
その他	オルガン委員会出席	2019年1月以降	年1回開催するオルガン委員会（委員の先生に対し、事業報告および次年度事業の説明を行い、アドバイスを受ける）に出席。

- **研修期間** 2018年5月～2019年4月末日を研修期間とします。
毎月、5日～10日程度の研修日程となります。
- **募集人員** 2名まで（但し、選考結果により欠員となる場合もございます。）
- **応募資格** ホールオルガニストをめざしパイプオルガンを専門的に勉強している方。
年齢、国籍は不問。ただし業務に必要な日本語能力を有すること。
- **待遇** 交通費のみ支給
 - ※研修1日につき往復2000円を超過する場合、超過分は自己負担いただきます。
 - ※毎月ホールが定める研修日数分を支給の上限とし、超過分は自己負担いただきます。
 - ※研修を経て依頼する業務、依頼演奏については別途報酬を支給します。

■ 応募要項

下記のことを提出してください。

- ① 応募者本人のパイプオルガン演奏による録音（応募資料は返却いたしません）
 - ※6ヶ月以内に録音したものでCD、CD-Rのいずれかを使用のこと。
 - ※J.S.バッハとロマン派以降のパイプオルガンのための作品の中から各1曲を収録してください（2曲の演奏時間合計で15分以内）。
 - また、録音は雑音などを含まない高品質なものを提出してください。
- ② 履歴書（市販の履歴書、写真貼付。e-mailアドレスをお持ちの方はご記入ください。）
- ③ 音楽に関する経歴書（形式自由。演奏歴、師事歴などを記入すること。）
- ④ 指導教授など、音楽の専門家による推薦状
- ⑤ 自己アピール（字数は問いません）

郵送先：〒220-0012 横浜市西区みなとみらい2-3-6

横浜みなとみらいホール事業企画グループ O.I.P.係

締切：2018年4月15日（日）

※郵送必着もしくはホールへ持参。持参の場合は18時まで受付。

■ 選抜方法

一次・二次ともに、ホール職員、オルガニストが審査・面談を行います。

- ① 一次審査：書類と音源審査
 - ・応募書類および音源をもとに審査いたします。
- ② 二次審査：面談 4月22日（日）実施 ※日程の都合がつかない方は応相談
 - ・一次審査通過者と面談を行い研修生の採用を決定いたします。

■ お問い合わせ

横浜みなとみらいホール事業企画グループ 担当：堀・河合

TEL：045-682-2020 / FAX：045-682-2023

ホールオルガニストの紹介

■三浦はつみ

東京藝術大学音楽学部器楽科オルガン専攻卒業。

1996年ボストン・ニューイングランド音楽院でアーティスト・ディプロマ取得。国内外でソロやオーケストラとの共演を数多く行い、2003年にはCD「トッカータ！」をリリース。現在、フェリス女学院大学非常勤講師。

横浜みなとみらいホールでは1998年の開館以来、ホールオルガニストを務め、オルガン・1ドルコンサート、こどものためのワークショップなどの企画、ホールオルガニスト・インターンシップなど育成プログラムにも力を入れている。平成19年度横浜文化賞 文化・芸術奨励賞を受賞。



前期生からのメッセージ

■オルガニスト・インターンシップ・プログラム 第16期生

澤 菜摘（さわ なつみ）

春から始まったインターン。ルーシーという素晴らしい楽器を弾けること。充実した様々な研修プログラム。ホールの方々が1つのコンサートをする時にどのように企画して、実現させていくのか。私はこのインターンを通して、これまで知らなかった多くのことを学ぶことができました。ホールという目線からオルガニストの仕事を学び貴重な経験ができるプログラムです。



富山県出身。洗足学園音楽大学電子オルガンコースに入学後、3年次にオルガンコースに転コース。洗足学園音楽大学オルガンコース首席卒業、同大学専攻科卒業。在学中特別選抜演奏者に認定され、同大学卒業演奏会に出演。2016年、日本オルガニスト協会第43回オルガン新人演奏会に出演。大学在学中よりオーケストラ、吹奏楽と数多く共演している。これまでにオルガンを荻野由美子、三浦はつみの各氏に師事。専攻科在学中ウィーンにてヨハネス・エーベンバウアー氏のレッスンを受講。国内にてフランソワ・エスピナス氏のマスタークラスを受講。横浜みなとみらいホール・ホールオルガニストインターン第16期生。日本オルガニスト協会会員。

オルガニスト・インターンシップ・プログラム修了生

これまでに本プログラムを修了し、各方面で活躍しているオルガニストの方々をご紹介します。
 << 2002年度(第1期) ~ 2016年度(第15期) >>

<p>第1期 浅井 美紀 (あさい みき)</p>  <p>東京藝術大学卒業、同大学院修了。安宅賞、アカンサス音楽賞受賞。これまでに東京藝術大学助手、青山学院高等部講師等を務めた。現在、青山学院高等部オルガニスト、水戸芸術館主催「幼児のためのパイプオルガン見学会」オルガニスト。</p>	<p>第1期 渋澤 久美 (しぶさわ くみ)</p>  <p>フェリス女学院大学音楽学部器楽学科卒業。同大学院音楽研究科修士課程修了。現在、盛岡市民文化ホール、聖路加国際大学聖ルカ礼拝堂オルガニスト。オルガンを高橋靖子、宮本とも子、浅井寛子、武久源造、三浦はつみの各氏に師事。</p>	<p>第2期 小島 弥寧子 (こじま みねこ)</p>  <p>玉川大学卒業、武蔵野音楽大学大学院修了。フェリス女学院大学ディプロマコース修了。国内外で演奏活動を行なう。近年は邦人作品や、スペインのオルガン音楽に特に力を注いでいる。現在明福寺ルンビニー学園オルガニスト、武蔵野大学非常勤講師。元築地本願寺副オルガニスト。</p>
<p>第2期 小高 園里子 (こたか えりこ)</p>  <p>スイス国立ジュネーブ音楽院を1等賞及びジュネーブの町より特別賞を得て卒業。国際オルガンコンクール入選。国内外で演奏活動と教会オルガニストを務める。オルガンを酒井多賀志、L・ロッグ、M・シャピユイ、A・コルティ、三浦はつみの各氏に師事。</p>	<p>第3期 飯塚 美奈 (いづか みな)</p>  <p>秋田聖霊女子短期大学音楽科、エリザベト音楽大学パイプオルガンコース卒業。その後、スイス・ジュネーブ音楽院に留学。マスタークラスなどに参加し研鑽を積む。これまでに、松尾泰江、戸沢真弓、香取智子、F.デロウ、三浦はつみ各氏に師事。</p>	<p>第4期 浅尾 直子 (あさお なおこ)</p>  <p>洗足学園音楽大学卒業。エリザベト音楽大学大学院修了。ポストン・ニューイングランド音楽院留学。カトリック田園調布教会オルガニスト。ヤマハミュージックアカペニー 銀座アネックス講師。</p>
<p>第4期 飯沼 彩 (いぬま あや)</p>  <p>武蔵野音楽大学、リューベック音楽大学、シュトゥットガルト音楽大学を経て、ドイツ国家演奏家資格を取得。オルガンを池田泉、藤枝照久、ユルゲン・エッスル、ベルンハルト・ハース、三浦はつみ各氏に師事。フェリス女学院大学音楽学部非常勤講師。日本基督教団長原教会オルガニスト。プリンシパル・オルガン教室主宰。日本オルガニスト協会会員。</p>	<p>第5期 野田 美香 (のだ みか)</p>  <p>武蔵野音楽大学大学院音楽研究科修士課程修了。国内外のマスタークラスにて研鑽を積む。現在、昭和音楽大学非常勤講師。トート音楽院渋谷講師。フェリス音楽教室講師。立正佼成会大聖堂オルガニスト。</p>	<p>第5期 柳澤 文子 (やなぎさわ あやこ)</p>  <p>東京藝術大学オルガン専攻卒業、同大学院修了。スウェーデン国立ピテオ音楽大学ソリスト科修了。03年度文化庁芸術家在外研修員。02年スイス・ルツェルン市「O.メシアン」J.S.バッハ国際オルガンコンクール」第1位。プリンシパルオルガン教室、フェリス音楽教室講師。日本キリスト教会湘南教会オルガニスト。</p>
<p>第6期 石丸 由佳 (いしまる ゆか)</p>  <p>©Naoko Nagasawa 東京藝術大学卒業、同大学院修了。デンマーク王立音楽院、ドイツ国立シュトゥットガルト音楽大学にて国家演奏家資格取得。シャルトル国際オルガンコンクールで優勝、併せてJ.アラン賞受賞。パリのノートルダム大聖堂やマドレーヌ寺院等のヨーロッパ各地、また日本全国で演奏会を行っている。リヨン国立管弦楽団、日本フィル、神奈川フィル等主要オーケストラとの共演多数。NHK 紅白歌合戦、題名のない音楽会に出演するなど幅広く活躍中。HP: http://yukaishimaru.pecori.jp</p>	<p>第7期 春日 朋子 (かすが ともこ)</p>  <p>東京藝術大学器楽科オルガン専攻卒業、同大学院修士課程修了。トゥールーズ国立高等音楽院を満場一致の一等賞を得て修了。ソロ演奏の他、アンサンブル、オーケストラとの共演、通奏低音や伴奏なども行っている。北陸学院中学・高校オルガニスト、金沢長町教会オルガニスト。日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会会員。</p>	<p>第8期 猿渡 友佳 (さるわたり ゆか)</p>  <p>玉川大学芸術学部パフォーマンス・アーツ学科オルガン専攻卒業。武蔵野音楽大学大学院修士課程修了。フェリス女学院大学ディプロマコース修了。「第26回白川・イタリアオルガン音楽アカデミー」にて白川賞受賞。日本オルガニスト協会会員。</p>

<p>第9期 小清水 桃子 (こしみず ももこ)</p>  <p>フェリス女学院大学音楽学部器楽学科オルガン専攻及び同大学院修了。これまでに平井靖子、廣野嗣雄、宮本とも子、三浦はつみ、武久源造の各氏に師事。第29回白川イタリオルガン音楽アカデミーにて白川賞受賞。現在、カトリック田園調布教会オルガニスト。フェリス音楽教室オルガン科講師。</p>	<p>第10期 岡本 玲子 (おかもと れいこ)</p>  <p>武蔵野音楽大学大学院、フェリス女学院大学ディプロマ修了。ボストン Andover Christ Church にてアシスタントオルガニスト、Old West Church にてオルガニストを務める。藤枝照久、荻野由美子、三浦はつみの各氏に師事。現在市川聖マリア教会オルガニスト。</p>	<p>第11期 龍田 優美子 (たつた ゆみこ)</p>  <p>東京藝術大学器楽科オルガン専攻にて学士号・修士号を取得。安宅賞・アカンサス音楽賞受賞。ドイツ政府奨学金(DAAD)を授与されシュトゥットガルト演劇音楽院へ留学。現在インディアナ大学ジェイコブス音楽院博士課程に在学中。平成29年度文化庁海外芸術派遣員および日米交換芸術家。</p>
<p>第12期 富田 真希 (とみた まき)</p>  <p>神戸松蔭女子学院大学教会音楽コース修了後、東京藝術大学卒業、同大学院修了。修了時にアカンサス音楽賞受賞。2011年フランス・ドイツ・ルクセンブルクの国境なき国際オルガンコンクール入賞。桜新町教会オルガニスト。</p>	<p>第13期 小野田 未奈 (おのだ みな)</p>  <p>都立芸術高等学校音楽科ピアノ専攻卒業。フェリス女学院大学音楽学部オルガン科卒業。</p>	<p>第14期 大山 智子 (おおやま ともこ)</p>  <p>甲南女子大学文学部、相愛大学オルガン専攻及び音楽専攻科修了。DAAD 奨学金を得て、ドイツ国立シュトゥットガルト芸術大学オルガン科及び古楽科にて修士号を取得。パイプオルガンを土橋薫、久保田清二、ルトガー・ローマン各氏に、チェンバロ、クラヴィコードをヨーク・ハルベック氏に師事。</p>
<p>第15期 石川 優歌 (いしかわ ゆか)</p>  <p>都立芸術高校音楽科楽理専攻、東京藝術大学オルガン科を卒業。オルガンをM.ブヴァール、J.W.ヤンセン、椎名雄一郎、廣江理枝、松浦光子各氏に師事。東京藝術大学大学院、トゥールーズ音楽院(フランス)在学中。</p>		

横浜みなとみらいホール

ホール概要

横浜みなとみらいホールは1998年の開館以来、横浜市民はもちろんのこと、首都圏・全国各地のお客さまにご来場いただいております。また、国内外のアーティストからも日本を代表するコンサートホールの一つとして親しまれています。

創造都市、横浜・みなとみらいのコンサートホールとして、新しい音楽を発信し続けると共に、皆さまに愛されるホールを目指していきます。

施設概要

<大ホール>

客席 囲み型シューボックス型 [残響時間 2.1秒 (満席時)]
面積 1944m²(縦54m、横35m、高さ20m)
客席数 2,020席 他に車椅子スペース 10席

<小ホール>

客席 シューボックス型[残響時間 1.6秒 (満席時)]
面積 425m²(縦23m、横17m、高さ11.4m)
客席数 440席 他に車椅子スペース 4席

<パイプオルガン>

アメリカ C.B.フィスク社製
外形寸法 高さ12m×幅12m×奥行3.6m
パイプ本数 4,623本
ストップ数 62ストップ
+チェレスタ、ナイチンゲール、ツィンベルシュテルン
鍵盤数 第1～第3手鍵盤：各61鍵、ペダル：32鍵

<その他>

リハーサル室 212m²
レセプションルーム 176m²
練習室 6室 23m²～39m²

名称	横浜みなとみらいホール
所在地	〒220-0012 横浜市西区みなとみらい2-3-6
竣工	1997年6月
開館	1998年2月1日(小ホール) 1998年5月31日(大ホール)
指定管理者	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団



大ホール



小ホール



外観

パイプオルガン「ルーシー」概要



大ホール舞台正面に設置されているオルガンは、アメリカのC.B.フィスク社製。ホンジュラス・マホガニー製のケースには、横浜にちなんだカモメの彫刻が施されています。輝くような明るい音色にふさわしく「光」を意味する"ルーシー"という愛称のついた、横浜みなとみらいホールのシンボルです。

この楽器は、現代のコンサートホールにおけるオルガンの理想を追求して設計され、バッハ以前の時代から現代に至る多種多様なオルガン曲を、それぞれにふさわしい音色で演奏することができます。また、ごく初期の段階からオルガンに響かせることに配慮して建築設計が進められてきただけに、ホール全体が一つの楽器のように共鳴し、客席ではあたかもオルガンの音色に包まれているように感じられます。



パイプは全部で4,623本。正面に見えているパイプのほかに、奥行き3.6mで4層になった内部に材質も形も大きさも様々なパイプがびっしり並んでいます。木のパイプはポプラ材、金属のパイプは鉛と錫(すず)の合金です。また、2層目にはチェレスタが組み込まれています。

音色を選ぶストップは62個。その他にも「チェレスタ」や、鈴を組み合わせた「ツィンベルシュテルン」、鳥の鳴き声に似た「ナイチンゲール」といった音色も備わっています。また、音色の組み合わせ(レジストレーション)をコンピュータで記憶するメモリーが内蔵されています。

- ◇外形寸法 高さ12m×幅12m×奥行き3.6m
- ◇パイプ本数 4,623本
- ◇ストップ数 62ストップ+チェレスタ、ナイチンゲール、ツィンベルシュテルン
- ◇鍵盤数 第1～第3手鍵盤：各61鍵、ペダル：32鍵
- ◇調律法 平均律

C.B.フィスク社

アメリカにおける現代オルガン建造のパイオニア。1961年、チャールズ・ブレントン・フィスクによって、ボストン近郊のグロスターで設立された。全米各地の教会や音楽大学、コンサートホールは元より、国外でもスイス、日本で優れた実績を持つ。

横浜みなとみらいホールのオルガン Op.110 は、第3代社長スティーブン・ディーク氏を中心としたチームの手で1991年に設計が開始され、ホールに設置した後1年あまりに及ぶ整音作業を含め、7年の歳月を経て完成した。